

あなたと 青山学院



地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

30万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」

2011. SPRING No.5

今号の聖句 主を畏れることは知恵の初め。 The fear of the LORD is the beginning of knowledge; 箴言 第1章7節

このたびの東日本大震災において、被災地の皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々にご遺族の皆さまに対し、謹んで哀悼の意を表します。

被災地ではまだまだ不安な時を過ごされている多くの校友の方々がいらっしゃることを思うと胸が痛みます。

青山学院では、苦しみ、悲しみに寄り添うべくメッセージを発信し、募金活動を始めています。大学においては、被災地の子どものケアのためにボランティアを派遣しようとしています。

地震が発生した金曜日に毎週、青山学院本部礼拝堂に集い、祈禱会が持たれています。「祈りと行動」これが青山学院の姿勢です。

被災者の皆さまのご健康と安全、そして一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

青山学院理事長 半田 正夫

青山学院院長 山北 宣久

地の基は震え動く。

地は裂け、甚だしく裂け

地は砕け、甚だしく砕け

地は揺れ、甚だしく揺れる。

地は、酔いどれのようによろめき

見張り小屋のようにゆらゆらと動かされる。

(旧約聖書 イザヤ書第24章18-20節)

激しく震い動く地にあって、
不動の愛の心を貫く私たちであり続けましょう。

青山学院院長 山北 宣久

3月11日の地震発生後、首都圏では交通網が混乱し、多くの方々が帰宅困難者となりました。「渋谷駅周辺帰宅困難者対策協議会」の構成員である青山学院は、ただちに避難場所として青山キャンパスを開放し、多数の帰宅困難者を受け入れました。

延べ8,000名が避難され、その約半数が青山学院記念館、青山学院講堂で一晩を過ごすこととなりました。水、非常食、防寒シートなどをお配りし、体調不良の方には本学の職員に加え、本学院に避難されていた看護師の方々のご奉仕により対応いたしました。

避難されてきた方々の中には、「渋谷駅で案内放送を聞いて、とにかく青山学院をめざして歩いてきました」という方や「家族に電話したいのですが、どこの公衆電話も混雑していて、母校を訪ねてまいりました」と涙ながらに語る校友もいました。

なお、後日、電話や訪問による多くの感謝の言葉が寄せられました。



青山学院記念館にて防寒シートにくるまる人たち



地震直後の青山キャンパス



青山学院講堂、当日の様子

CONTENTS

学校法人 東日本大震災によせて	1	校友会 アイビーグループニュース	8
学校法人 卒園式、卒業式	2	校友会 部会・同窓会ニュース	10
今号の聖句	2	学校法人 Aoyama Family / オペラ歌手・音楽家 藤井 多恵子さん	12
学校法人 青学ニュース・アカデミー	3	学校法人 Useful Information	13
学校法人 青学アカデミー	4	学校法人 青学探訪「機器分析センター」	14
学校法人 青学アカデミー・スポーツ	5	学校法人 青山学院からのお知らせとお願い	15
校友会 支部ニュース	6	校友会 校友会本部	16